

A-⑤ 政策形成に活かすデータ収集とデータ分析基礎

1日

対象

政策形成プロセス（PDC）にかかわる若手、中堅職員

～政策形成に活かす社会調査の考え方・進め方基礎～

狙い

政策形成に活用するためのデータ収集・分析（社会調査）に必要な基礎知識と手法を習得する。

目標とする成果

- 政策立案プロセスにおけるデータ収集・分析（社会調査）の必要性を理解する。
- データ収集・分析（社会調査）の基本的な知識・手法を理解する。
- データ分析を活用した政策立案の進め方を習得する。

進め方の特徴

- 政策形成におけるデータ収集・分析の関係を明らかにして進める。
- 実践的なデータ収集・分析の活用方法の習得を図る。
- データ収集・分析の実践活用につなげる。

研修概要

9：00～17：00

午前	①政策形成と社会調査 ②データの集め方	午後	③データ分析の基本 ④データを分析する ⑤データ分析を活かした政策立案 ⑥データ収集・分析の準備
----	------------------------	----	---

B-⑤ ワークライフバランス（WLB）型職場に向けた業務基盤づくり

2日間

対象

・時間制約型職員を活かしたい管理、監督者
・ワークライフバランス支援を推進する部門メンバー
・再任用制度を推進する部門メンバー

～多彩な時間制約職員を向けた職場単位で取り組む4つのアプローチを習得する～

狙い

多彩な時間制約職員（育児、介護、再任用職員）とともに部門目標実現に向けて業務生産性を高めるために業務構造を変革する考え方・進め方、その手法を習得し、職場での実践を図る。

目標とする成果

- 時間制約型職員を活かした職場づくりの重要性・必要性を理解する。
- 業務構造変革アプローチの考え方・進め方を理解し、その手法を習得する。
- 職場での実践、継続化のポイントを習得する。

進め方の特徴

- 職場での実践に向けて、具体的な手法・ツールを使った演習を中心に行う。
- 個人演習とグループ演習の組み合わせにより、演習成果の向上と実践への準備を図る。

研修概要

9：00～17：00

1日目	①変革が求められている組織の現状 ②職場で求められているワークライフバランス支援 ③業務構造変革の4アプローチ ④業務3△改善に向けた業務総点検アプローチ（A）	2日目	⑤業務マネジメントアプローチ（B） ⑥業務分担再編アプローチ（C） ⑦業務ナレッジマネジメントアプローチ（D）
-----	---	-----	---